

令和元年10月14日 満月の日 海神神社・和多都美神社での御神事

日時：10月14日の満月の日か、前後日

場所：峰町の海神神社

場所：仁位の和多都美神社

（※）10月22日は宮中宮殿で即位の大礼が執り行われます。
宮殿の正殿松の間に据えられた高御座に新天皇陛下、御帳台に新皇后陛下
がお座りになられ、即位を宣言されます。

■御祈願の趣旨

御皇室の弥栄と日本各地の宮司様の弥栄を祈り、世界の平和を祈念し、そ
ういう活動を支えられる地域経済の繁栄を願います。

宮司様に大祓祝詞を奏上していただき、参列者で教育勅語を奉唱します。

■「月の光奉賛会」とは

「月の光奉賛会」とは、日本神話の源流をなす伊邪那岐命と伊邪那美命の
國生みの島々、神話に由来する島々を顕彰する奉賛会です。代表を務める成
田亨は、平成7年（1995年）の阪神淡路大震災以降、家族で日本各地の1500
カ所以上の神社を参拝してきました。

御神職の方々のその先には、天皇陛下がおられるものなので、平成から令
和への御代替りにあたって、こういうことが自覚できるように御神事をやっ
ていくことを目的として設立しました。

月の光奉賛会の名称で、玉串料をお送りします。

みなさまの地元の神社の宮司様に対馬のチラシをお渡し、そして、地元の
神社に玉串料を納め、対馬に合わせた御神事をお願いします。

■海神神社と和多都美神社

海幸彦・山幸彦で有名な彦火出見尊の時代に、海宮があつた島が対馬で、兄の現在の海神神社が海宮の場所です。山幸彦といわれた彦火出見尊が、兄の海幸彦の釣り針を無くしたため、塩椎神の助言で、海神の宮殿に行きました。

そして、海神の宮殿で、豊玉毘賣命と結婚し3年を過ごしました。

彦火出見尊は兄の釣り針を探していたことを思い出し、赤鯛の喉に引つかかっているとわからました。

赤鯛のこの功績により、鯛には「魚の王様」という称号が与えられ、「めでたい」の代名詞となりました。

実は、海にいる「鯛」は「國體」を現しており、神苑の池にいる「鯉」は人の団体（「政體」）を現しています。

海幸彦・山幸彦の物語は、この鯛（國體）の管理者が海神である、と語つているのです。つまり、彦火出見尊の時代以降、皇統を維持するには対馬の神々の協力が必須になつてきました。

また、豆酸に伝承されている「天童」は、地球の大天変地異があつた時代、伊勢の天照大御神さまを陰ながらサポートするため龍良山（たつらさん）に降臨された天照大御神さまの御姿です。

天照大御神さまは、神様として降臨されたのではなく、「童（男の子のわらべ）」として降臨されているので、特別に対馬では「天童」と尊称してきました。

度重なる変転によつて、現在では、「天童」と「天道」が混同、習合し由来が失われています。

平成から令和への御代替りに当たつて、遠い神代の昔から古代、近現代史において対馬の果たした役割に思いを馳せ、満月の日か、その前後に祈りを捧げたいと思います。

＜月の光奉賛会 代表 成田亨 ＞
〒177-0033 東京都練馬区高野台1-23-30 ガーデンシート高野台 805

携帯 080-9175-4666 メール naritatooru@gmail.com